

検査科・消化器内視鏡科

1. 目的と特徴

消化器内視鏡の診断・治療、超音波画像診断・治療、IVR治療、生理検査および検体検査に関する幅広い知識と技術を習得し、中央部門として病院全体を俯瞰できる総合力と豊かな人間性を兼ね備えた医師を養成する。

当科は、臨床検査科と消化器内視鏡科が一体となった診療・教育体制を特徴としており、臨床検査医学と消化器内視鏡診療を総合的に学ぶことができる。消化管内視鏡診断・治療、超音波診断・治療、IVRに加え、生理検査・検体検査、臨床検査の精度管理、検査室運営など臨床検査医学に関する実践的な研修を通じて、幅広い診療能力とマネジメント能力を身につけることを目標としている。また、食道・胃静脈瘤に対する内視鏡治療や肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法（RFA）など、消化器疾患に対する高度専門医療にも携わることができる。

当科では高度なESDをはじめとする内視鏡治療を積極的に行っており、豊富な臨床経験を通じて、安全で確実な治療技術と術者としての判断力を実践的に修得できる教育体制を整えている。

教育面では、上級医によるマンツーマン指導を基本とし、内視鏡検査からESD、超音波診断・治療、IVR、静脈瘤治療、RFAに加え、臨床検査の精度管理、検査データの品質保証、検査診断学まで、段階的かつ実践的に学ぶことができる。さらに、症例カンファレンスや病理カンファレンスを通じて、診断・治療・偶発症対策・術後管理までを総合的に考える力を養成する。

新専門医制度における臨床検査専門医の取得を目指すとともに、各学会が定める要件を満たすことで、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本消化管学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会などの専門医取得を目指すことができる。また、日本門脈圧亢進症学会については、所定の要件を満たすことで技術認定医の取得も目指すことができる。

2. 指導スタッフ

教 授（部長） 佐藤浩一郎

准教授（医局長） 古市好宏

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学附属足立医療センター検査科・消化器内視鏡科

（令和4年1月移転：東京女子医科大学東医療センターより名称変更）

研修協力施設：内科、外科、救急救命科、病理診断科、東京女子医科大学臨床検査科、同外科、福島県立医科大学会津医療センター下部消化管外科、福寿会東京病院、勝楽堂病院、庄内余目病院など

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

消化器内視鏡の診断・治療、超音波画像診断・治療、IVR治療、生理検査および検体検査の幅広い知識と技術を習得し、中央部門としての全体を見渡せる総合力を身につけると同時に豊かな人間性を兼ね備えた医師を目指す。

B：行動目標 1）消化器内視鏡の診断と治療の知識と技術を習得する。

2）超音波検査の診断・治療技術とともに臨床検査全般・検査の精度管理の知識と技術を習得する。

3）総合内科的観点から検査、処置に習熟し臨床応用する。

4）医療安全管理の基本を理解し、実践する。

5）カンファレンスに参加し、討論する。

6）学会に参加し、発表する。発表内容を論文として投稿する。

- 7) 諸検査所見の整理。検査所見の正確な記載。
- 8) 臨床検査専門医及び消化器内視鏡専門医の申請資格を得て取得を目指す。
- 9) メディカルスタッフと協力し患者様の問題点を解決する。
- 10) 医学生の実習をスタッフと協力して行う。

C：年次別研修スケジュールと研修内容概略

(基本スケジュールであり、本人の希望を踏まえ相談により変更は可能。)

研修1年次前半 検査科全般の知識、技術の習得。

後半 地域病院研修

2年次 消化器内科（地域病院）研修

3年次 内視鏡検査、超音波検査（本院臨床検査科研修）

4年次 病理診断科研修もしくは専門研修施設への出向

5年次 内視鏡検査・治療、超音波検査・治療、IVR治療、検査精度管理の実践

研修1年次は、臨床検査医学および消化器内視鏡診療の基礎的知識・技術を修得する。

2年次は、地域病院の消化器内科にローテーションし、一般内科診療および消化器病学を実践的に学ぶ。

3年次は本院臨床検査科において、内視鏡検査、超音波検査ならびに臨床検査医学の知識・技術を修得する。

4年次は、病理診断科にローテーションし、病理学的視点から病態を理解するとともに、必要に応じて専門研修施設へ出向し、高度な診断・治療技術の修得を図る。

5年次は、内視鏡検査・治療、超音波診断・治療、IVR治療に加え、臨床検査の精度管理を実践し、専門医として必要な知識・技術・判断力を総合的に修得する。

D：週間予定

(基本スケジュールであり、変更となることもある。)

月～土 主として光学診療部にて、内視鏡検査・治療、超音波検査・治療などを担当する。
地域連携室からの紹介患者の診察を行い、臨床検査の精度管理も行う。

臨床検査の精度管理を中心に臨床検査の実践も行う。

カンファレンス

内視鏡読影カンファレンス：毎週月曜日 午前9時から

症例・病理カンファレンス：毎週金曜日 午後4時30分から

E：評価

診療内容は、逐次、指導医およびメディカルスタッフから評価をうける。学会発表、論文提出時には、指導医、学会員から評価を受け、学会専門医の申請時には、研修内容、論文等が評価される。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学附属足立医療センター検査科に採用を希望するものは、検査科部長と病院長とで協議し、助教として採用も可能。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授との協議のもと、医学博士の学位申請が可能である。

7. 専門医

臨床検査専門医取得を基盤としつつ、各学会の定める要件を満たすことで、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本消化管学会、日本肝臓学会、日本超音波医学会、日本門脈圧亢進症学会などの専門医・技術認定医の取得を目指すことができる。

8. 問い合わせ先

〒123-8558 東京都足立区江北4-33-1

東京女子医科大学附属足立医療センター検査科・消化器内視鏡科

部長 佐藤浩一郎

E-mail : sato.koichiro@twmu.ac.jp

医局長 古市好宏

E-mail : furuichi.yoshihiro@twmu.ac.jp

TEL : 03 - 3857-0111 (内線 : 31414)

附属足立医療センター検査科ホームページもご参照下さい。

<https://twmu-amc.jp/department/laboratory/>